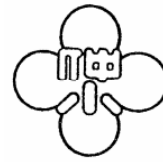


仲町だより



なかよく
まなぼう
ちからいっぱい
練馬区立仲町小学校

暑い季節を乗り切る

校長 澤井 英子

1年生が育てている朝顔の花が咲き始め、夏の訪れを感じさせます。プールでの学習が始まり、暑い季節を乗り切る準備が始まりました。

【熱中症予防】

報道によると、今年の熱中症患者は、すでに昨年同期を大きく上回っているそうです。

熱中症の予防は、「水分補給」と「暑さを避けること」です。

学校では、保健委員会の子供たちが、休み時間毎にこまめな水分補給を呼びかけています。

また、暑さを避けるために、校帽の着用の徹底を図っていきます。

休み時間に、水道の蛇口で頭をぬらす子供を見かけました。本人は涼しくなると思うのですが、髪の毛の表面がぬれただけで、体を冷やすことはできません。ぬれタオルで額や首を冷やすことこそ大切です。

現在学校では、節電対策をしていますが、室温が上がりすぎないように、エアコンや扇風機で工夫しています。服装については、ご家庭で通気性の良い、吸湿・速乾の衣服など、放熱を促進できるよう配慮していただくと有り難いです。登下校には、身体を露出するより、衣服で身体を守ることの方が必要かも知れません。

環境省熱中症予防情報サイト (http://www.nies.go.jp/health/HeatStroke/mntr/tko_neri.html) には、練馬区の暑さ指数(WBGT)が逐次更新されています。

ちなみに、猛暑日を記録した6月29日の値は30度を超え、厳重警戒レベル(激しい運動は避ける)になりました。この値にも注意しながら、熱中症予防に努めて参ります。

一人一人が自分の体調を整え、暑さを乗り切る工夫をしていきましょう。

【学校評議委員会】 6月25日開催
評議委員の皆様をご紹介します。

関 和彦	元PTA会長
佐藤 茂	少年スポーツ指導者
吉川 文子	主任児童委員
山本 達也	元PTA会長
満留 三郎	前PTA会長
松下 勝持	仲町小 OB
池田 清忠	PTA会長

話し合われた一部をお知らせします。

○放射能について

本校が定点観測地点になっていることから、先日の測定結果の報告をしました。校庭の5カ所を測定した結果、

最大 0.157 (単位 マイクロシーベルト)

最低 0.135

平均 0.148

で、日常生活に影響のあるレベルではないとのこと。(練馬区のHP上に報告が有ります)

数字の持つ意味が、必ずしもよく分からないところもありますが、過度に心配せず、状況を見守る必要があることが話されました。

放射能は、自然界に日常的に観測されるものでありますが、異常な数値や、急激な変動には、今後も注意し、子供たちの安全確保を続けます。

○運動会について

以下のことが懸案になっているとのことご指摘をいただきました。

1. 前日から席を取るために並ぶ人の存在
2. 自転車対策
3. 昼食の食べ方

そこで、これらの課題を保護者の皆様が理解し、ご協力いただけるよう、再度職員会議や、PTA役員の皆様との話し合いで、検討することにしました。ご心配をおかけし、申し訳ありません。詳細は、別紙にてお知らせいたします。